
子どもの貧困対策としてのフードバンク

全国フードバンク推進協議会
事務局長 米山広明

2017年4月15日

自己紹介

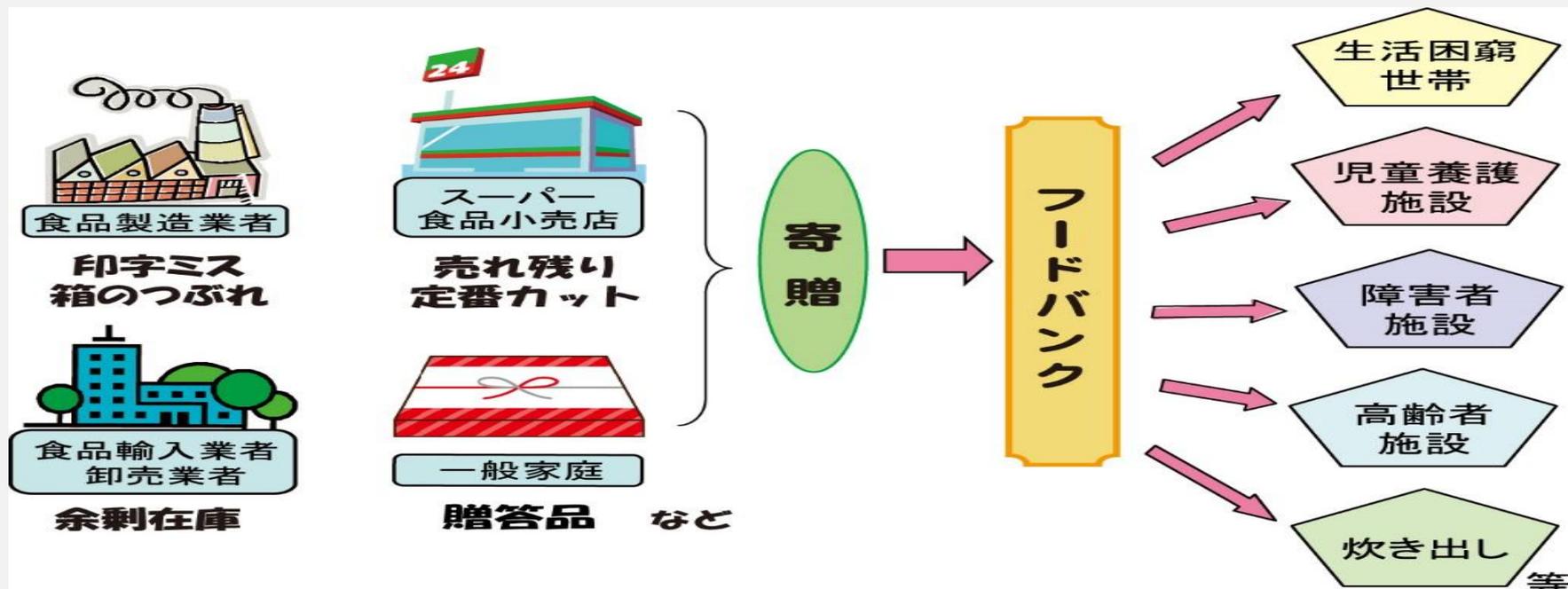
- 名前： 米山広明（よねやまひろあき）
- 1983年12月25日生まれ、33才
- 山梨県南アルプス市出身
- 愛媛大学理学部を卒業後、2008年のフードバンク山梨設立時よりフードバンク活動に携わる
- フードバンク活動全般、組織基盤強化事業、困窮世帯への生活相談支援、農作業を通じた自立支援等、新規事業の立ち上げや自治体への事業提案を担当
- 2015年11月の全国フードバンク推進協議会設立時より事務局長。新設フードバンク団体の立ち上げ支援や政策提言を行っている



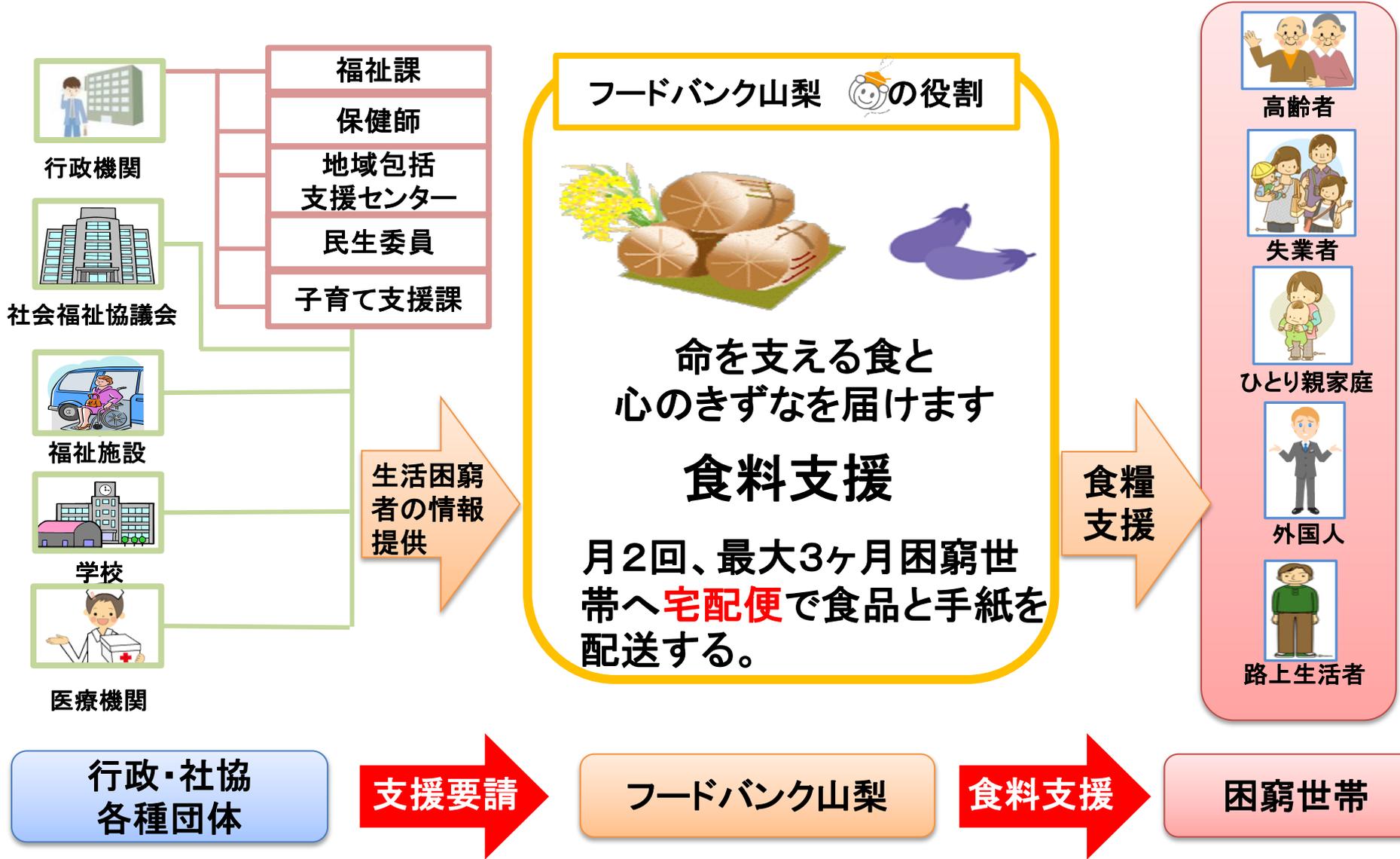


フードバンクとは？

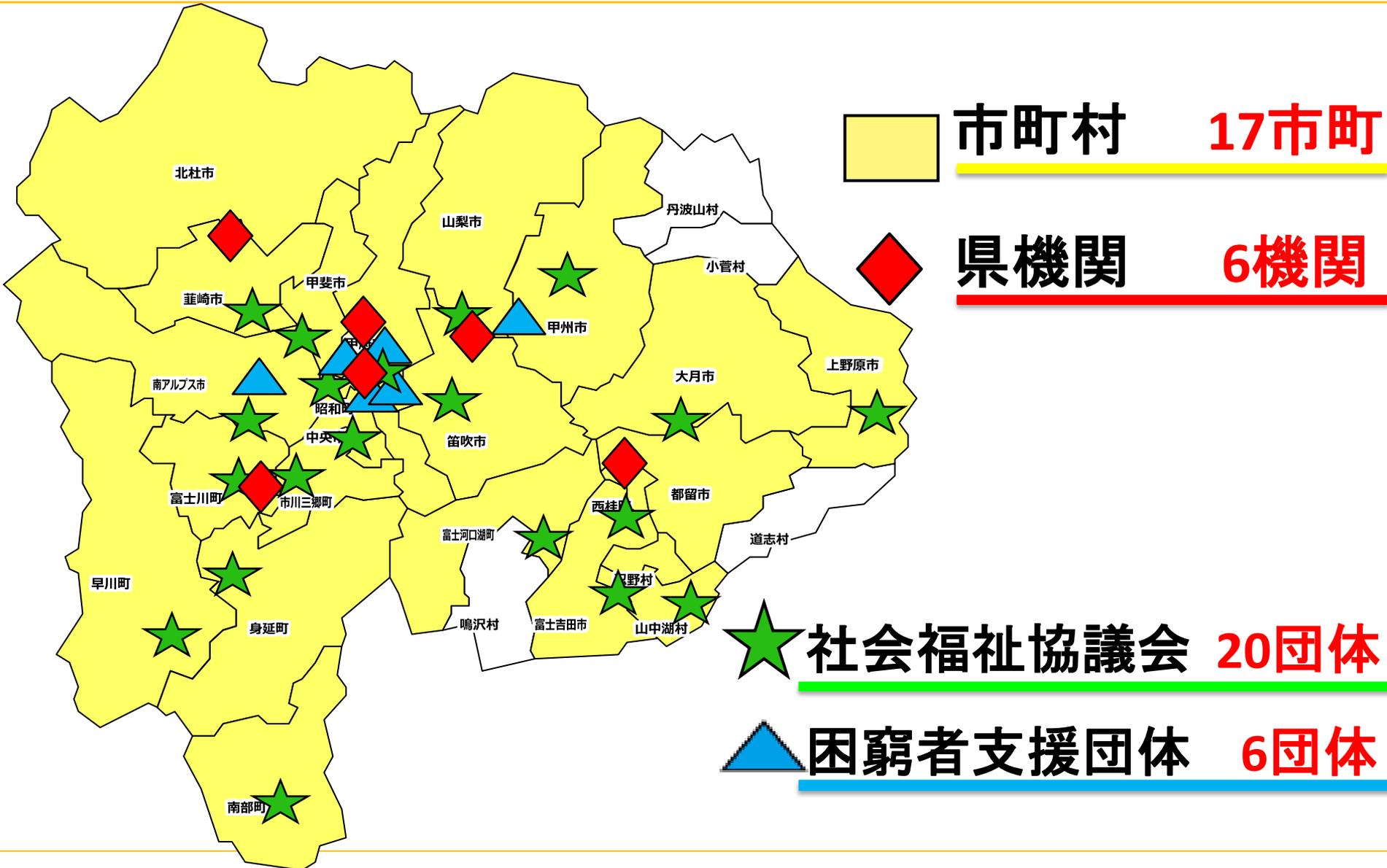
安全に食べられるのに、箱が壊れたり、印字が薄くなったりして、販売できない食品を企業などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する活動です。



- ・日本でまだ食べられるのに捨てられている食品は年間632万トンで、国民1人1日当たりほぼ1食分が廃棄されています。
- ・企業は廃棄コストの削減となり、地域の社会貢献にもなります。
- ・フードバンクはもったいないを、ありがとうに変える活動です。



連携確約書締結機関分布 49機関



個別ファイルの家族構成をもとに食品を選択

毎月2回、約100世帯へ食品をボランティアさんと共に梱包し、配送しています。



個人別ファイルの家族構成にあわせて食品箱詰め作業を行っています。

2015年度は309世帯(2724件)に30トンの食品をお送りすることができました。

お渡しする食品の例

世帯によってお送りする食品は異なり、1つ1つ心を込めて箱詰めをしています。
1～2人世帯は平均7kg、3人以上の世帯は12kgを平均を目安にお送りします。



お菓子が沢山入った家族用の箱



乳児のためのミルクや離乳食が入った箱

フードバンクと地域づくり

強固なセーフティネットとして機能していた血縁、地縁、社縁



血縁 家族・親族の縁

経済的・時間的援助



地縁 地域のコミュニティ

地域での助け合い
孤立化を防止

安定した雇用
手厚い企業福祉



社縁 会社を基礎とするつながり



無縁社会に新たな縁を作り出すフードバンク活動

セーフティネットとして機能していた血縁・地縁・社縁が崩壊し生活困窮世帯が増加。
生活困窮世帯の増加に伴い子どもの貧困も拡大。



活動に賛同した企業からの支援

製造・販売の過程で生じる食品ロスの寄付

フードバンク山梨



食料
支援



活動に賛同した市民からの支援

一般家庭からの食品の寄付、
箱詰めなどボランティアの参加

フードバンクは血縁・地縁・社縁がなくなった地域の中に、困窮世帯を市民や企業の
地域全体で支える縁を作り出し、地域のセーフティネットとして機能する

フードバンクこども支援 プロジェクト



中央市、中央市教育委員会と「子どもの貧困対策連携協定を締結」



連携協定締結式



中央市職員によるフードドライブ

子どもの貧困対策連携協定の締結



笛吹市・教育委員会

支援世帯の増加

■ 世帯数

— 子どもの人数

新たに南アルプス市・笛吹市の小中学校からの申請受付開始

- ・南アルプス市 124世帯(子ども 246人)
- ・笛吹市 179世帯(子ども 379人)
- ・中央市 78世帯(子ども 156人)

中央市の小中学校からの申請受付開始

- ・中央市 80世帯(子ども 157人)

A小学校から申請受付開始
・13世帯(子ども 27人)

1000人

以上の
子どもを支援

288

305

488

511

127

133

222

2015年夏

2015年冬

2016年夏

2016年冬

フードドライブ ヴァンフォーレ甲府との連携



「ヴァンフォーレ甲府vs鹿島アントラーズ」の試合でフードドライブを実施しました。鹿島アントラーズのサポーターの皆様からの寄付を含め合計 **426kg**の食品が集まりました。



スクールフードドライブ

| スクールフードドライブ実施学校(五十音順) |
|-----------------------|
| 山梨県立市川高等学校 |
| 甲府支援学校 |
| 山梨県立甲府西高等学校 |
| 山梨県立市川高等学校 |
| 甲府支援学校 |
| 山梨県立甲府西高等学校 |
| 山梨県立甲府東高等学校 |
| 山梨県立甲府南高等学校 |
| 山梨県立巨摩高等学校 |
| 山梨県立白根高等学校 |
| 山梨県立韮崎工業高等学校 |
| 山梨県立日川高等学校 |
| 山梨県立身延高等学校 |
| 身延山大学 |
| 山梨英和大学 |
| 私立山梨英和中・高等学校 |
| 山梨県歯科衛生専門学校 |



県立高校をはじめ私立大学や専門学校17校でフードドライブを実施。
1.9トンの食品が集まりました。

食料支援(5回)・スタートイベント



- ・支援の申請をした **222世帯** に毎週1回(計5回)食料支援を実施
- ・支援食品の合計は約 **8.2トン**
- ・**133人**のボランティアのご協力を頂きました



母親と子どもが一緒に箱を開ける様子



食品を送った方からの返信ハガキ

援助をありがとうございます。
子どもを2人育てながら仕事をして不安がいっぱいの中、温かいお手紙と食品をいただき、涙が止まりません。常にお手紙を持ち歩き、心がつまった時、目を通すと励みになります。1人ではないのだと・・・。
わずかな期間ですが、安心して子どもたちに食事を与えることができます。私も病院に1年程通院し、心に少しゆとりがとれ、回復に向かうことを思い、自分の体を大切にしたいと思います。



品物が届きました。当日私は前日から続く偏頭痛で伏せていました。孫は朝から玄関にハンコを用意して待っていました。

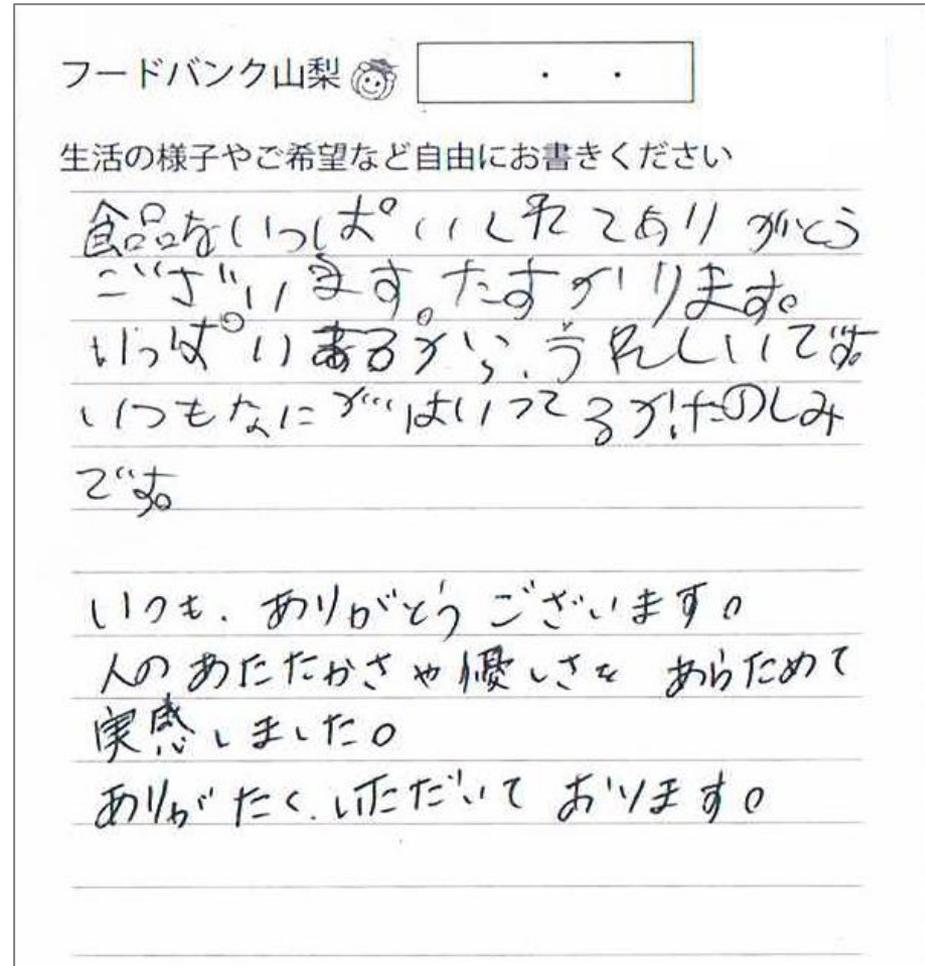
ここに書くのは恥ずかしいのですが、ここ数年ほんとに大変な思いをしました。2年前、1日に豆腐1丁しか食べさせることが出来なかった時がありました。体の大きな孫は空腹で眠れずに夜中にフト気付くと台所でボーッと立ちすくんでいました。その姿は、今でも忘れる事が出来ません。今皆さまにこうして助けていただいて本当に感謝しています。



食品を送った方からの返信ハガキ



小学1年生からの手紙



母子家庭からの手紙